

岩日タイムズ

発行者
岩瀬日本大学
高等学校
ソーシャルメディア部
飯山 粹衣
緒方 桃子

自分を認め、幸せに

桜川市人権講演会

1月6日、大和ふれあいセンターシトラスで株式会社ジービット代表取締役の井上健斗さんを講師に迎え、桜川市人権講演会がオンラインと現地で行われた。

「なぜ差別はなくならないのか」

井上さんは私たちに問いかけた。この問題は自分自身の永遠の課題でもあるとしながら「差別がなくならないのは差別している自覚がないからではないか」として、知ること、出



講演する井上さん

「ハーシティを考えた」という姿勢を表すことも大切だ。LGBTの人にとって一番の壁だと言われる力



自分の体の変化について語る

のではなく、生活している中で周りにいる人全てに共通するものだと思う。

(飯山)

株式会社G・p・i (ジービット)

2010年より「世界中のトランスジェンダーが、より行きやすい未来に」を理念に掲げ、個人事業をスタートさせた。全国主要都市に無料相談窓口を設け、メール相談や事務所将来にて治療情報や病院紹介など全て無料でやっている。パ

井上さんに
インタビュ

講演後のインタビューで井上さんは「今、幸せですか」という質問に対し、はじけるような笑顔で「幸せだ」と答えてくれた。その理由について、コップの水に例えて話をしてくれた。「例えばこのコップには半分の水しか入っていない、と考えるのか、それとも、このコップには半分も水が入っていると考えるのか、同じ境遇においても幸せと感じる人もいれば

ンコクのヤンキー国際総合病院や日本国内の医療機関と提携し性別適合手術を希望する方のサポート業務を行う。また、全国的にイベントや手術説明会などを開催し、当事者の居場所づくりに力を入れている。

トランスジェンダー (Transgender)

様々なニュアンスがあるが、現在では、生まれたときの性別と、自分自身が思う性別(性自認)が異なること。その人たちが全般を指す。



不幸と感じる人もいるとして、そのどちらを次第で世界は変わる」と語った。井上さんに教えていただいたコップの水理論はマネジメントの父と言われるドラッカーの言葉だ。

編集後記

LGBTの人は日本の人口の約8%で、これは左利きの人やAB型の人と同じ割合だそう。この話を聞き、意外と身近な存在なんだと感じた。身近な存在だからこそ、「アライ」になり、ウェルカミングアウトの姿勢を見せることが大切なんだと分かった。今、絶望や孤独を感じているLGBTの方が一人でも多く希望を持って生きていけるような世界にしていきたい。(飯山)

井上さんのお話を聞いて、性に対する認識を見つめ直せた。

アメリカ版「accobook」は、ユーザーからの依頼に答えた結果、性別の選択肢が58種類にまで増加した。性別は身体の性、心の性、好きになる性、表現する性から構成される。その組み合わせは2種類でも58種類でもなく、無限大だ。このような「性のグラデーション」を理解し、一人ひとりが多様性を当たり前に受容する世の中でありたい。(緒方)